

最優秀出展者に五合

かすがいビジネスフォーラム開幕

【春日井】

尾張地区最大級の商工業「第11回かすがいビジネスフォーラム2017」（春日井商工会議所主催、春日井市共催、中部経済新聞社など後援）が16日、春日井市鷹来町の市総合体育館で開幕した。市内と近郊の企業・団体135社が150ブースを出展。最新の技術や商品、サービスを紹介し、初日から多くの企業関係者らが来場し、盛り上がった。



135社が出展する「かすがいビジネスフォーラム」の会場

17日まで。各ブースでは、商品実物や内容の展示パネルに工夫を凝らしてPRに力を入れる企業が目立つ。初日は春日井市内の高校生が多く訪れ、担当者らが丁寧

ビジネスフォーラム大賞受賞企業の担当者



答える光景が見られた。同会議所と連携協定を結ぶ市内13金融機関が協力して行われる「超！ビジネスマッチング商談会」のコーナーでは、出展者と金融機関の紹介企業が熱心に商談していた。また2年ぶりに物品販売が復活。目当ての商品を購

入する市民の姿が見られた。講演会やビジネス交流会、出展企業のPRプレゼンテーションも行われ、来場者の関心を集めていた。

さらに今回、出展企業から優秀出展者を表彰する「ビジネスフォーラム大賞（ビジネスフォーラム大賞）」を初開催。初日に審査と表彰式が行われた。

最優秀賞には独自の親水性無機塗料を手がける五合（本社春日井市）、優秀賞に、ものづくり部門でオリジナルの照明事業を展開するエムエムシー（同）、商業・サービス部門でデジタルサインタイルを製造販売するタイルラボ（本社名古屋）が選ばれた。五合の山口藤起開発部長は「受賞が励みになり、今後の企業活動につなげたい」と話した。

初日はオープニングセレモニーが開かれ、松尾会頭は「産官学が連携して商工業者の新たなイノベーションを起こし、産業界が元気になって春日井市に貢献できるといい」とあいさつ。松尾会頭や伊藤太市長らによりテープカットが行われた。